

餅つきで“景気づけ”

和歌山県 世界遺産センター

田辺市本宮行政局内「産センター」は6日、同にある和歌山県世界遺産局の玄関横で餅(もち)



観光客も一緒に餅つき

つきを行った。平成20年を迎えるにあたっての「景気づけ」とし、ついた餅を訪れた人たちに振る舞った。

餅は昔ながらのきねでついた。同局職員の子孫の3人や同センターへ見学に来た観光客らが「ベッタ、ベッタ」。初めての子どもも多く「楽しかった」と話していた。つき上がった餅はきな粉をまぶし、見物の人らに配られた。

同センターの交流スペースでは現在、熊野曼荼羅絵(アクリル画)と写真展が開かれている。また今月20日午後1時から「セミナー」世界遺産から何を学ぶか」が予定されている。いずれも無料。問い合わせは同センター(電話0735④1044)へ。